

強度行動障害を有する児者の実態調査の概要

令和8年2月 山口県健康福祉部障害者支援課

1 調査目的

山口県内の強度行動障害を有する児者の人数や生活状況、事業所にて配慮していること等を把握することにより、今後の強度行動障害を有する児者への支援施策等を検討するための基礎資料とする。

調査における強度行動障害を有する児者の定義

者：障害福祉サービス等の支給決定等における障害支援区分認定調査の行動関連項目において10点以上の者

児：障害児支援における強度行動障害の基準において20点以上の者

2 調査対象

(1) 強度行動障害を有する児者の実数等調査

県内19市町

(2) 強度行動障害を有する児者の受け入れ等調査

山口県内の指定障害者支援施設、指定障害児入所施設及び指定共同生活援助事業所

3 調査時点

令和7年6月1日

4 調査結果

(1) 強度行動障害を有する児者の実数等調査

ア 強度行動障害を有する児者の基本状況

○ 県内の市町が支給決定した強度行動障害者は、1, 837人

圏域	強度行動障害者数
岩国	215
柳井	110
周南	211
山口・防府	317
宇部・小野田	445
下関	374
長門	74
萩	91
計	1,837

○ 年齢の内訳

強度行動障害者数	年齢								
	～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
1,837	185	326	337	336	389	164	87	13	0
99.9%	10.1%	17.7%	18.3%	18.3%	21.2%	8.9%	4.7%	0.7%	0.0%

※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない場合がある。(以下の表についても同様。)

○ 行動関連項目の合計点数の内訳(者)

強度行動障害者数	行動関連項目の合計点数(24点満点) ※10点以上が対象															
	24点以上	24点	23点	22点	21点	20点	19点	18点	17点	16点	15点	14点	13点	12点	11点	10点
1,698	18	2	4	27	76	74	85	109	134	119	153	151	155	176	203	212
100.1%	1.1%	0.1%	0.2%	1.6%	4.5%	4.4%	5.0%	6.4%	7.9%	7.0%	9.0%	8.9%	9.1%	10.4%	12.0%	12.5%

○ 行動関連項目の合計点数の内訳(児)

強度行動障害者数	行動関連項目の合計点数(55点満点) ※20点以上が対象						
	55-51点	50-46点	45-41点	40-36点	35-31点	30-26点	25-20点
139	1	2	5	9	18	34	70
100.0%	0.7%	1.4%	3.6%	6.5%	12.9%	24.5%	50.4%

○ 障害支援区分

強度行動障害者数	障害支援区分						
	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
1,837	115	0	6	38	155	481	1042
100.0%	6.3%	0.0%	0.3%	2.1%	8.4%	26.2%	56.7%

○ 強度行動障害者が生活されている場所

強度行動障害者数	生活場所						
	在宅	グループホーム	障害者支援施設	障害児入所施設	医療機関	その他	未回答
1,837	644	166	999	0	16	11	1
100.1%	35.1%	9.0%	54.4%	0.0%	0.9%	0.6%	0.1%

イ 強度行動障害を有する児者の支給決定の状況

○ 強度行動障害者が利用しているサービス(重複あり)

強度行動障害者数	障害福祉サービス等									
	居宅介護	重度訪問介護	行動援護	生活介護	短期入所	共同生活援助	施設入所支援	障害児入所支援(福祉型)	障害児入所支援(医療型)	その他
3,576	72	5	14	1543	486	169	998	0	0	289
100.0%	2.0%	0.1%	0.4%	43.1%	13.6%	4.7%	27.9%	0.0%	0.0%	8.1%

○ 障害者支援施設の待機登録状況

生活場所として障害者支援施設に入所を希望し、待機登録している強度行動障害者は、225人（緊急待機登録者数は77人）

待機登録者数	
通常	うち緊急
225	77
	34.2%

また、待機登録者数のうち、現在の生活場所で最も多いのが在宅での待機者で171人。

待機登録者の生活場所	人数	待機登録者のうち
在宅	171	76.0%
障害者支援施設	23	10.2%
グループホーム	21	9.2%
医療機関	2	0.9%
その他施設	8	3.6%

ウ 強度行動障害を有する児者や家族等が抱える課題等

- ・ 障害特性により、社会参加や受け入れ先を見つけるのが難しい場合がある。
- ・ 在宅の方について、近隣で利用できる短期入所がなく、レスパイト先がない場合がある。
- ・ 在宅の方について、家族等の高齢化により支援が困難となる場合がある。

(2) 強度行動障害を有する児者の受け入れ等調査

ア 強度行動障害を有する児者の基本状況

○ 回答があった48事業所（指定障害者支援施設34施設、指定共同生活援助事業所（以下、グループホーム）14施設）に入所等する強度行動障害を有する児者の数は、823人

○ 年齢の内訳

入所・入居施設等	調査対象者数	年齢									
		～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～	未回答
障害者支援施設	748	5	60	121	179	209	98	64	8	0	4
グループホーム	75	4	21	14	15	14	5	2	0	0	0
計	823	9	81	135	194	223	103	66	8	0	4
	100.0%	1.1%	9.8%	16.4%	23.6%	27.1%	12.5%	8.0%	1.0%	0.0%	0.5%

○ 障害支援区分

入所・入居施設等	調査対象者数	障害支援区分							
		区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
障害者支援施設	748	0	0	0	1	19	171	557	
グループホーム	75	1	0	0	1	19	27	27	
計	823	1	0	0	2	38	198	584	
	100.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	4.6%	24.1%	71.0%	

○ 入所・入居者が生活されている居室の利用人数

入所・入居施設等	調査対象者数	居室人数				
		1人	2人	3人	4人	その他
障害者支援施設	748	406	275	34	33	0
グループホーム	75	64	10	0	0	1
計	823	470	285	34	33	1
	100.1%	57.1%	34.6%	4.1%	4.0%	0.1%

イ 強度行動障害を有する児者に配慮していること

○ ハード面

配慮している内容	施設・事業所数
利用者の怪我防止措置 ※保護棒、居室等の床・壁等に衝撃吸収素材を採用等	30/48 (62.5%)
居室等の破損防止措置 ※窓に強化ガラス・アクリル板等を設置等	23/48 (47.9%)
情緒安定を図るための居室等の配置・設備等に工夫	19/48 (39.6%)
事故等発生時に備えた機器等の設置 ※共有スペース等にカメラ、人感センサー、鍵設置等	13/48 (27.1%)
なし	6/48 (12.5%)
異食防止のため居室等の配置・設備等に工夫	2/48 (4.2%)

○ ソフト面

配慮している内容	施設・事業所数
1対1対応や複数による支援	29/48 (60.4%)
強度行動障害支援者養成研修修了者等による支援	25/48 (52.1%)
情緒安定を図るための工夫 ※他利用者と食事等の時間の調整等	12/48 (25.0%)
行動の手順化	11/48 (22.9%)
自傷行為・他害行為を防ぐための見守りの強化	5/48 (10.4%)

- ウ 強度行動障害を有する児者の受け入れに必要な行政等からの支援
 ※回答があった73事業所の集計結果（障害者支援施設 37 施設、障害児
 入所施設 1 施設、グループホーム 35 施設）

配慮している内容	施設・事業所数
ハード面の補助金	43/73 (58.9%)
研修の充実	14/73 (19.2%)
報酬の増額・加算の創設	9/73 (12.3%)
ソフト面の補助金	6/73 (8.2%)
専門家の派遣	2/73 (2.7%)